



川合木工所バチ通信

2025年8月 第2号

こんにちは。静岡県浜松市の川合木工所、川合です。

立秋を過ぎたとはいえ、まだまだ暑さの厳しい日が続いていますね。

皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

6月に始めた「川合木工所バチ通信」も、今回で2回目となりました。

前回の通信に「読みましたよ」と声をかけていただくこともあり、とてもありがとうございました、嬉しい気持ちです。

これからも、ものづくりの現場の空気や、日々のちょっとした出来事を、無理のないペースでお届けできたらと思っています。

今回も、よろしければお付き合いください。



いろいろな土地の音に、いろいろなバチ

最近、各地の太鼓関係者の方から、バチについてのお問い合わせをいただく機会がとても増えてきました。

地方によって、演奏のスタイルも、バチの使い方もさまざま、「なるほど、そういう形もあるのか」と学ばせていただくこともあります。

なかでも最近ご要望をよくいただくのが、「テーパー」と呼ばれる、先端にかけて細くなる形状のバチや、いわゆる「バット型」と言われる、グリップ側がやや太めの形のものです。演奏の感触や音のニュアンスにこだわる方から、ご相談をいただくことが多くなってきました。



川合木工所では、こうした形状のバチにも対応できるよう、材の選定や加工方法も工夫しながら取り組んでいます。

「こんな形、できるかな？」と気になったときは、どうぞ気軽にご相談ください。

いろいろな音の現場を思い浮かべながら、一本一本、ていねいに削っています。





ホウノキの出番が増えています！

このところ、ホウノキ(朴)のバチについてのお問い合わせが増えてきました。

ホウノキは、ほどよい軽さと柔らかさがあり、手にやさしいのが特徴です。演奏時に手に伝わる衝撃が少なく、長時間の演奏にも向いていて、「扱いやすい」と感じていただけることが多いようです。

弊社では、必要なときに安心してお使いいただけるよう、在庫が切れないように努めています。

これからも、木の声を聴きながら、ていねいに削っていきたいと思います。



社長のひとりごと



天竜川の夏の夜に

工場のすぐ隣を流れる天竜川。普段は静かなこの川も、8月14日の夜だけはにぎやかになります。

「中野町煙火大会」という花火大会が開かれるのです。

堤防の向こうの河原が会場で、夕方には提灯が灯り、たくさんの人でごった返します。



江戸時代から続くと言われている伝統ある花火で、歴史と共に地域の自慢のひとつでもあります。

この中野町の花火が終わると朝晩の風が変わり、日中は暑くても少しづつ秋に向かっているんだなと実感します。

今年も家族や友人たちと一緒に楽しく見ることができました。



日本の文化を守る太鼓の撥メーカー
株式会社川合木工所

〒435-0011 静岡県浜松市中央区国吉町1番地
TEL:053-421-0139 FAX:053-422-0723

公式 Instagram



公式サイト相談フォーム

太鼓のバチに関する
ご相談は、お気軽に
お問合せください。

